

清月記SPECIAL対談

吉田啓子さんが語る「女性の生き方」

第24回



青葉区一番町で、イタリアアパレル、皮製品などを販売する「from k」を経営する吉田啓子さん。経営者の傍ら全国法人会女性部会会長として全国を駆け巡っている。その秘訣などをお聞きしました。



菅原 裕典
すがわら・ひろのり
1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とともにすがわら葬儀社設立。89年仙台メモリアルサービス設立、社長就任。2000年エボックせんせい設立、社長就任。01年社会福祉法人無量壽会理事長就任。01年せんだい泉エフワム放送取締役。01年(株)清月記社長就任。10年宮城学院中学校・高等学校父母教師会会长就任。

「相手を受け入れる力を持つこと」

生糸の仙台つ

菅原 吉田さんは生糸の仙台つ子だと聞いています。

吉田 そうです。若林区文化町に生まれ、地元の南木材町小学校から中高、大学と宮城学院にお世話になりました。

菅原 ご兄弟は。

吉田 私は、父、吉田平一と母静江の子どもとして生まれ、兄弟はなく一人つ子です。

吉田 父は昨年93歳で亡くなつたのですが、家族に愛され、人生を全うして長生きしてくれたと思います。

菅原 どのようなお父様だったのですか。

吉田 地元建設業の吉田建設興業の創業者で、背が高く、とても素敵な父でした。会社は戦後の1955年、昭和30年に興しました。

菅原 ご兄弟は、外から仙台に来た方に、仙台は何も見る所もないと言つてはだめだと思うのです。実際、整備された仙台跡は素晴らしいですし、自然も文化も豊富で、とても住みやすい街であることをもつとPRしていくことが必要です。ところで、吉田さんは、全国法人会女性会会長をされていますね。

吉田 はい、2年の任期で残り1年です。法人会に入つて21年になりますが、周りの先輩から、経営などの勉強をするには法人会に入るのがよいと、勧められたのがキッカケでした。会長としては、これから女性経営者がもっと活躍できるよう、またメンバーを増やして、共にいろいろと学んでいきたいと思っています。

菅原 さまざまな公職をこなしながら会社も経営されていました。

吉田 皆さんとの“和”を大切にしながら、与えられたことに、自分の力を出し切るようにしています。相手を受け入れる力を持つようにいつも心がけています。

原点は健康であること



40数年前、父の平一氏がチャーターメンバーだったロータリークラブのクリスマスパーティで

菅原 まさに日本が高度経済成長期のときの建設業ですから、競争も激しく、ご苦労されたのでしょうか。
吉田 大変な仕事だとは周囲から聞いてはいましたが、父は、家に帰ると家庭の中では、仕事のことはほとんど話さない人でした。

菅原 宮城学院女子大学を卒業された後は。吉田 父がロータリーアンダット関係から、仙台東ロータリークラブの事務局員として就職しました。その後結婚して、3人の子どもに恵まれました。

菅原 1964年、平成元年に、今のご商売を始められました

吉田 吉田建設興業の関連企業で、建設機械リースなどを行つてきました。若いときに、国内を含め世界を見て歩くのは、それから的人生がとても豊かになるのではないかと思いません。

菅原 私も旅行が好きなので、日本が日本の文化などにもつともっと精通しないと、いつも海外に行つて感じます。海外で和服を着ていたりすると、自然と周りに人が集まっています。日本の人々が海外で和服を着ているのです。

吉田 はい。パリやミラノなど10日間かけて、自由に美術館や古い建物などを見て回つたのが一番の思い出です。

菅原 吉田さんは、旅行もお好きだとお聞きしました。

吉田 はい。パリやミラノなど10日間かけて、自由に

K」を開業しました。

26年間、スイス生まれでクリティティとエレガансで有名なラグジュアリーブランド、バリを扱っていましたが、昨年から、イタリアアパレル、皮製品などの「ボルボネーゼ」を仙台で唯一、販売させていただいております。



清月記本社で

仙台は大きなチャンスを与えている都市

菅原 吉田さんは、旅行もお好きだとお聞きしました。吉田 はい。パリやミラノなど10日間かけて、自由に美術館や古い建物などを見て回つたのが一番の思い出です。若いときに、国内を含め世界を見て歩くのは、それから人生がとても豊かになるのではないかと思いません。

菅原 私も旅行が好きなので、日本が日本の文化などにもつともっと精通しないと、いつも海外に行つて感じます。海外で和服を着ていたりすると、自然と周りに人が集まっています。日本の人々が海外で和服を着ているのです。

吉田 はい。パリやミラノなど10日間かけて、自由に



吉田啓子さん
よしだ・けいこ

1953年(昭和28年)、仙台市若林区生まれ。
●宮城学院中学校・高等学校卒業後、宮城学院女子大学英文学科卒業。1989年、バリー専門店「from k」を開店。現在はイタリアアパレル、皮製品の「ボルボネーゼ」を仙台では唯一、販売している。
●仙台中法人会副会長、仙台中法人会女性部会直前副部会長、全国法人会総連合女性連絡協議会会長(宮城県法人会連合会女性会連絡協議会前会長)、宮城県防衛協会常任理事・女性部会幹事長の公職もこなす。

菅原 二つの大きな国際会議を成功させ国際的にも注目されている仙台は今、もっと大きなチャンスが与えられた都市だと思います。47都道府県の県庁所在地の中でも、地下鉄があるのはわずか9都市、しかも2路線もある、外から見ると、とても恵まれている都市なのです。

吉田 私もそう思います。日本でも、海外の方が民族衣装を着ていると、自然と人が集まってきたものね。昨年の国連防災世界会議や5月のG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議など、仙台も国際都市として世界に名前が知られるようになり、さらに国際化を意識しないといけないでありますね。

菅原 二つの大きな国際会議を成功させ国際的にも注目されている仙台は今、もっと大きなチャンスが与えられた都市だと思います。47都道府県の県庁所在地の中でも、地下鉄があるのはわずか9都市、しかも2路線もある、外から見ると、とても恵まれている都市なのです。

吉田 和服を着られるようにするとお茶を点てられるようにするか、お茶を点てられるようにするのではなく大事なことだと思います。

吉田 私もそう思います。日本でも、海外の方が民族衣装を着ていると、自然と人が集まってきたものね。昨年の国連防災世界会議や5月のG7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議など、仙台も国際都市として世界に名前が知られるようになり、さらに国際化を意識しないといけないでありますね。

菅原 二つの大きな国際会議を成功させ国際的にも注目されている仙台は今、もっと大きなチャンスが与えられた都市だと思います。47都道府県の県庁所在地の中でも、地下鉄があるのはわずか9都市、しかも2路線もある、外から見ると、とても恵まれている都市なのです。

清月記グループ
1日1組の家族葬ホール
斎苑
2016年7月
1日1家族限定の家族葬専用ホールが完成
仙台迎賓館 斎苑
事前相談 随時承り中
0800-888-5777
www.seigetsuki.co.jp

いた有限会社
和産業を営んで
おりましたが、
両親の所有して
いた、青葉区一
番町の仙台三越
南側の土地を活
かそうと、今で
いうアパレルの
セレクトショッ
プ「f r o m



清月記本社で

吉田 やはりその時、その時に自分の力を出し切ることではないかと思つております。その積み重ねが大切ではないかと思います。そして、素晴らしい人生を送る原点は、やはり素敵な友人関係と健康であることが一番です。人とお会いするのに自分が健康で元気な状態でありたいと常に思つておられます。

吉田 まさにそうですね。私も健康を第一に、これからも頑張つていきたいと思いまして。これからも「活躍を期待しております。

菅原 まさにそうですね。吉田さんは、旅行もお好きだとお聞きしました。吉田 はい。パリやミラノなど10日間かけて、自由に